

2025年度 川崎市立麻生小学校 学校経営計画

教育基本法
学校教育法
学習指導要領等

各種全体計画
・人権尊重教育
・道徳教育
・いじめ防止基本方針等
キャリア在り方生き方教育

学校教育目標

- 進んで学びとろうとする子ども
- 自分で考え、進んで行う子ども
- 美に感じ、思いやりのある子ども
- 心身ともにたくましい子ども

【かわさき教育プラン】
<基本理念>夢や希望をいだいて
生きがいのある人生を送るための
礎を築く
<基本目標>
自主・自立 共生・協働

【育成をめざす資質・能力】

「知識・技能」の習得

「思考力・判断力・表現力等」の育成

「学びに向かう力、人間性等」の滋養

学習や生活で活用できる基
礎・基本となる知識と技能の
習得

未知のことにもすでに既に得ている知識・技
能を活用して自分でよく考え課題を解決し表
現する力

いろいろな考えや意見があることを認め、他
者と協力し学びの意義を実感して生活に生
かす態度

めざす学校

一人ひとりが認め合い、自分らしさを輝かせ、響き合う学校
～人・もの・こととの出会いを大切に、互いのよさを認め、高め合える麻生小学校～

学校経営方針と具体的な取り組み

確かな学力の育成

主体的に考え、課題
をもち、解決していく
力を育成する。

豊かな心の育成

互いを大切に、認め
合い高め合える学校・
学級づくりに努める。

健やかな心身の育成

主体的に学校生活に
関わり、心身ともに健や
かに生きる力を育成す
る。

地域開かれた魅力ある、
信頼される学校づくり
学校、家庭、地域が相
互に協力、連携できる
体制づくりに努める。

- ・学習のめあてを明確にし、児童が課題を持ち、主体的で対話的な学びを深めるよう授業づくりを行う。
- ・体験や経験を活かし、「わかった」「できた」達成感と「もっと学びたい」という意欲的な学習活動の展開を図る。
- ・基礎・基本を定着させるための日々の取組を充実させるとともに個々の特性に合わせた教育の充実を図る。
- ・GIGA 端末を正しく活用した授業とモラル教育の充実を図る。

- ・多様性を認め他者と協力して皆が気持ちよく学習したり生活できたりすることができるための環境づくりを行う。
- ・人権尊重教育の推進を系統的に行い、いじめを絶対にしない、ゆるさな学校・学級の風土づくりに努める。
- ・児童や保護者の不安や悩みに寄り添い、他機関とも連携して解決に向けた支援を継続して行う。
- ・発達段階に応じて集団の一員として活動する力やリーダーシップを発揮する力を養う。

- ・各行事等を通して、進んで創造的に生活する意識を高め、一人一人が活躍できる環境づくりに努める。
- ・清掃活動や奉仕活動など、皆が気持ちよく生活できる環境づくりに向け、主体的に取り組み、行動する姿勢を育む。
- ・身体と心の健康、体力の向上、安全への意識を高めるために必要となる知識と技能の習得を図り、実践していく力を育成する。

- ・保護者や地域と一層の連携を図り、児童の安心安全な学校生活の維持に努める。
- ・ふるさと川崎、麻生のまちへの愛着を深め、誇りをもって生活することのできる児童を育成する。
- ・効果的な情報公開や発信、受信を通して、保護者や地域の学校運営への理解を図る。
- ・信頼される学校となるよう、教職員の資質能力の向上を図る。
- ・自己研鑽を図りながら、働きやすく、働きがいのある職場環境を整える。

- ・カリキュラムマネジメント
- ・学力学習状況調査
- ・GIGA 端末の効果的な活用
- ・情報モラル教育の推進
- ・キャリア在り方生き方教育の推進

- ・児童支援体制の構築
- ・人権尊重教育、共生*共育、SOSの出し方受け止め方教育の推進
- ・児童会活動、委員会、クラブ活動の充実

- ・学校生活、学校行事等の自主的活動の充実
- ・キラキラタイム、体力向上
- ・健康教育、食育、防災安全教育の推進

- ・学校運営協議会、コミュニティスクール
- ・麻生中学校区地域教育会議
- ・ホームページ、各種たよりでの情報発信

今年度の重点課題

【確かな学力の育成】

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実
 - ・課題解決に向け児童自らが考え、動き、様々な人との交流を通して学ぶことのできる授業づくりに努める。
 - ・教員の授業力向上への意識を高め、学び合い高め合う体制をつくり、児童の確かな学力の育成に努める。
- GIGAスクール構想の推進
 - ・一人一人が学習の主体者として学びに向かうことができるようなGIGA端末活用の工夫を含めた授業改善に取り組む。
- 市学習状況調査結果を丁寧に分析し、学校内会議で各層への有効な具体的手立てを検討する。①一斉指導による授業改善②発達段階にあった協働的な学びの推進③個別支援が必要な児童への「学習のログ」を活用した適切な支援。これらが、どの学年においても継続実施できる校内システムを構築する。
- 校内研究「算数科」を通し、「他者の考えから、自分の考えを広げ、深める子」を育成する授業づくりに取り組み、授業力の向上を図る。

【豊かな心の育成】

- 人権尊重教育のさらなる推進
 - ・共生＊共育プログラム、道徳、特別活動等を通して、多様性を認め、互いを大切にできる心情を更に育てていく。
 - ・教職員の人権意識の向上のための研修を位置づけ、効果測定や学校生活アンケートの分析を丁寧にを行いながら、一人一人を大切にされた指導、支援につなげる。
- いじめ防止、児童支援の充実
- 児童と教職員、児童同士の温かな関わりを大切に、学校生活の基盤となる学級や所属する集団を温かく安心してできる環境となるよう努める。
 - ・児童の困り感を早期に把握し、迅速な対応に努める。
 - ・教育相談日制度を更に周知し、児童、保護者が相談しやすい体制を整える。
- 個別教育計画を実効性のあるものとし職員が児童の指導目標と手立てを共有し、チーム支援として機能するよう校内体制を整備する。
- 主体的な活動を支える環境づくり
 - ・学級内の係活動や学校行事、クラブ活動や委員会活動において、児童の主体性を尊重した取り組みになるよう計画し、その活動を支える。児童の頑張りやよさを具体的に認めながら自己有用感、自己肯定感を高めていく。

【健やかな心身の育成】

- 安全管理、防災教育の推進
 - ・川崎市学校防災対策指針に基づき、危機管理マニュアルを本校の実態にあわせて随時見直していく。
 - ・年度始めの引き渡し訓練を引き続き実施し、災害時の対応について保護者と共通理解を図るとともに、消防署や警察とも連携したより実践的な訓練を行っていく。
- 体力向上への取り組み
 - ・体育の授業とともに、キラキラタイムや休み時間の過ごし方なども含め、日常的な体力向上の機会を確保していく。
- 心身の健康の保持、向上への取り組み 主体的に生きる力の育成
 - ・不安の抱える児童への対応を充実させるとともに、心身の健康を保持するために、支援教育 Co.や養護教諭が専門性を生かした相談活動や助言・指導を適切に行う。学校行事等を通して、所属感、達成感を感じられる機会をつくり、主体的に自らの生活をよりよくしていこうとする力を育てる。
 - ・食生活と自らの健康について考え、実践できるよう栄養教諭の専門性を生かした食育指導を行う。
- 熱中症予防対策指針に基づく適切な措置の継続と年間カリキュラムの見直しを行う必要がある。

【地域に開かれた魅力ある信頼される学校づくり】

- ・本校の教育活動をより理解していただくために効果的な情報発信の方法として学校ホームページや各種便りなどを活用していく。また、年度末学校アンケートにとどまらず、全校的な行事等において保護者からの意見を伺い、よりよい学校運営を目指す。
- ・引き続き、図書・見守り等のボランティア活動で児童の学習活動に参画いただき、さらに地域や保護者の方にゲストティーチャー等で参加いただく機会を増やしていく。
- 地域との連携の推進
 - ・分科会として麻生小コミュニティスクールを継続し、本校教育への理解と意見をいただく中で学校運営に生かしていく。
 - ・地域教育会議、地域の行事等に可能な形で協力し、連携を図る。
 - ・小中連携、幼保小連携を継続して効果的にを行い、幼保小中のスムーズな学びの継続ができるよう努める。